

# 長野県合同災害支援チーム（チームながの）による 広島県尾道市の支援について

平成31年1月21日（月）

長野県危機管理部危機管理防災課

# 支援までの経過

## 「平成30年7月豪雨」の被害状況

平成30年6月28日以降の台風7号や梅雨前線の影響により、西日本を中心に全国的に広い範囲で記録的な豪雨となり、広島県や岡山県、愛媛県など1府10県には特別警報が発令された。

### 全国の被害状況（平成30年11月6日10時現在 消防庁集計）

人的：死者	224名	行方不明者	8名	
住家：全壊	6,758棟	半壊	10,878棟	他

# 支援までの経過

## 被災県への支援

国（総務省）、全国知事会、被害の大きかった県が協議し、  
「被災市区町村応援職員確保システム」に基づく対口支援が決定。

**長野県は広島県尾道市の支援**にあたることとなった。

## **「長野県合同災害支援チーム（チームながの）（ ）」 として初めての人的支援を決定**

長野県外で大規模な災害が発生した場合、被災した県や市町村に対し、長野県と県内市町村が連携して支援を行うことを目的とした協定を締結。

（平成24年12月に知事・市長会長・町村会長の3者で協定締結。）

### 「被災市区町村応援職員確保システム」

大規模災害が発生した場合に、全国の地方公共団体による応援について、総合的な調整を行うために、総務省により平成30年3月に運用が開始されたシステム。

### 対口支援

被災市町村を1対1で支援する方法。「カウンターパート」ともいう。

# チームながのによる尾道市支援

## 広島県尾道市の被害状況

人的：死者2名 重症1名 軽症6名

住家：全壊29棟 半壊41棟 一部損壊189棟

その他：土砂災害が市内17か所で発生し、**道路崩落やため池の決壊が多数発生。**

また、7月7日から全市で断水（全市復旧は7月21日）



尾道市内の道路やため池の被害及び派遣職員の現地調査の状況

# チームながのによる尾道市支援

## 支援内容

- (1) 支援期間 平成30年7月12日から9月2日まで
- (2) 支援内容 災害で被害を受けた道路やため池などの復旧のため、災害査定に向けた現地調査、測量、設計書作成などの技術支援
- (3) 派遣職員 計37名（延べ258名）  
内訳：県職員17名 市町職員20名 職員を派遣した市町村 15市1町



尾道市役所での業務状況



後方支援本部の調整会議

# 今後の支援に活かすため、派遣職員等にアンケートを実施

## 派遣職員からの意見

- ・被災地の職員と情報共有することの大切さを感じた。
- ・県や他市と一緒に仕事をして問題解決の取り組み方などが参考になった。
- ・土地勘のない災害現場をイメージすることが難しかった。
- ・尾道市の若手職員と、現地調査に出向き直接アドバイスができたので、ニーズに合った支援ができた。

## 市町村の防災担当者、県各部局からの意見

- ・現地の様子や支援内容等を、できるだけ早く情報提供してほしい。
- ・支援内容によって、派遣期間を柔軟に対応してもよいのではないか。
- ・あらかじめ派遣順番を10のブロック単位で決めていたため、派遣時期が想定しやすかった。

**アンケート結果は市町村や県の関係部局にも提供し共有。今後のチームながのの活動に反映するとともに、今後の防災訓練や研修等にも活かしていきます。**